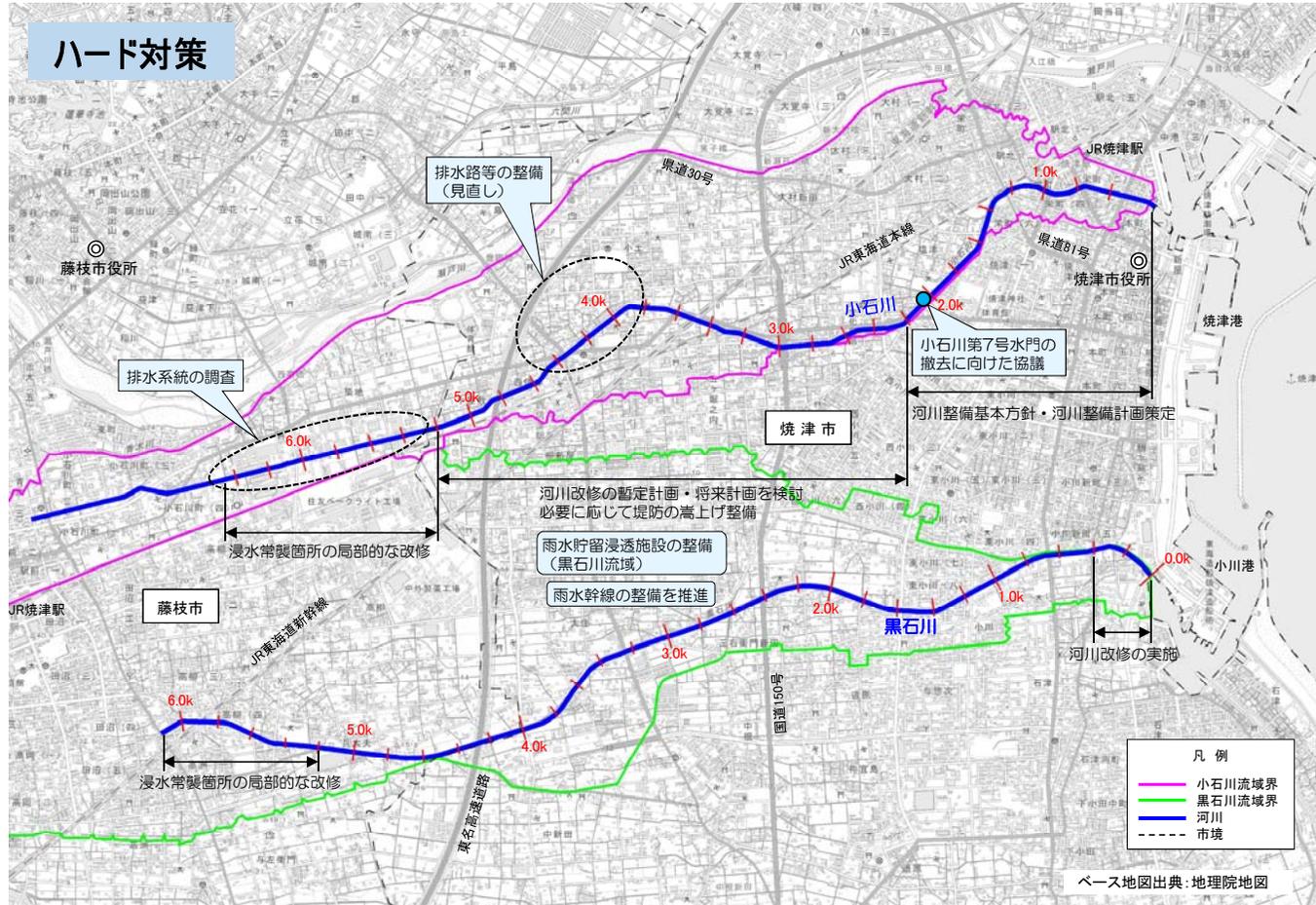


アクションプラン (H29～R3) の目標

小石川・黒石川流域内においてハード対策とソフト対策を組み合わせた総合的な治水対策を進め、平成25年7月降雨と同規模の降雨(時間雨量63mm)に対し、床上浸水の解消など浸水被害の軽減を目指します。

全国的には、平成25年7月17日の時間雨量63mmを超えるような大雨が各地で降っているため、住民の皆さんとの協働によるさらなる減災対策が必要です!!

ハード対策



アクションプランの体系

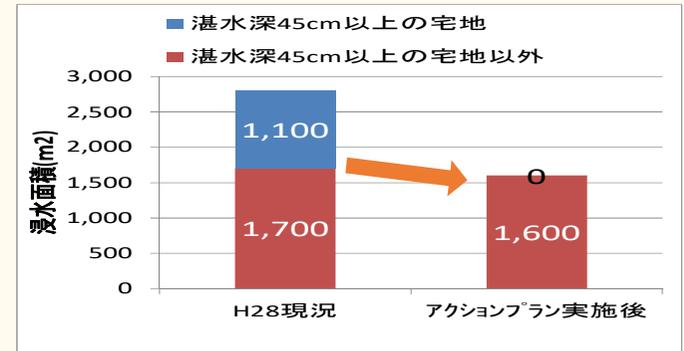
総合的治水対策

ハード対策
ソフト対策

- 水位低下対策**
 - 小石川や黒石川の改修のほか、下水道及び排水設備の整備や排水系統の見直しを行います。
 - 出水時に流れを妨げている農業用取水堰を撤去します。
- 流出抑制対策**
 - 公共施設等を活用し雨水貯留浸透施設を設置し、川や下水道への雨水の流出を抑制します。
 - 無秩序な開発を抑制するとともに、農地や山林を保全し、現状の貯留・保水機能を保持します。
- 浸水被害軽減対策**
 - 雨量・水位の情報提供や、ハザードマップの配布により、地域の防災意識の向上を図ります。
 - 水防活動の充実を図り、水害時の被害を最小限にとどめます。

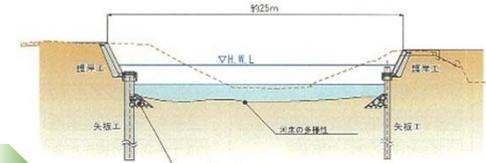
アクションプランの効果予測

本アクションプランの対策を実施後に、平成25年7月の降雨と同規模の雨が降った場合、床上浸水は解消し、床下浸水する範囲は1,700m²から1,600m²に縮小する見込みです。



◆ 河川改修

県管理区間において、栃山水系河川整備計画に基づく河川改修(矢板護岸工の整備)を実施します。



黒石川流域

河川改修イメージ

◆ 農業取水堰の改良・統廃合

県による河道改修に先立ち、現在川の流れを妨げている小石川第7号水門を撤去することにより、洪水の流下をスムーズにします。



出水時の小石川第7号水門

小石川流域

◆ 排水系統(排水先)の見直し

出水時に小石川に集中してしまう洪水を、排水系統の見直しや分流を行うことにより、別系統の水路へ導き、氾濫を防ぎます。



焼津市豊田地区付近(H16洪水)

小石川流域

◆ 高洲地区での浸水被害軽減対策

下流に影響を与えない範囲で、黒石川の河川改修を行います。洪水をスムーズに黒石川に排水するため、排水施設の整備を行います。雨水貯留施設を設置できるかどうか検討します。



藤枝市高柳付近(H25洪水)

黒石川流域

主なハード対策 令和元年度までの実績と今後の予定

R元年度の実績

- 小石川河川整備基本方針・河川整備計画の継続検討 [県(河川)]
- 五ヶ堀之内地区において堤防嵩上げ等を実施 (L=50m) [焼津市]
- 第7号水門撤去に関する事業採択を申請、地域住民と調整会議を開催 [焼津市, 大井川土地改良区]

小石川

対策メニュー	実施内容	実施機関	当面の対策の対象	R1までの進捗率	実績			今後の予定	
					H29	H30	R1	R2	R3
河川改修	河川整備基本方針、河川整備計画の策定と計画に基づく河川改修の実施	県(河川)	河川整備基本方針 河川整備計画	25%	現状と課題の整理	治水計画の検討	治水計画の検討	河川整備基本方針の策定・公表 河川整備計画の検討	河川整備計画の策定・公表 河川改修の検討に着手
	計画の策定と計画に基づく改修の実施	焼津市	堤防の嵩上げ整備 (五ヶ堀之内地区)	100%	堤防嵩上げ等を実施(L=30m)	堤防嵩上げ等を実施(L=90m)	堤防嵩上げ等を実施(L=50m)	対策効果が高い箇所を選定し、対策を実施	
農業取水堰の改良・統廃合	統廃合に向けた協議(国)と改良・統廃合の実施	土地改良区/県(農林)	第7号水門	50%	-	関係機関協議	撤去に関する事業採択を申請	事業採択後、第7号水門の撤去工事を実施	
	統廃合に向けた協議(地元)	焼津市	第7号水門	80%	関係機関協議	地域住民との調整	地域住民との調整	地域住民との調整の継続	
排水系統(排水先)の見直し	排水路の整備状況の把握と必要な排水路の整備	焼津市	JR橋梁付近の排水路 豊田地区の排水路	100%	排水路の調査	排水路、フラップゲートの整備	対策効果の検証	対策効果を検証し、追加対策の必要性を検討	
		藤枝市	流域全体	30%	排水系統の調査	排水系統の調査	台風19号による浸水地区を検証	他の浸水常襲地区との優先度を調整し、効率的な箇所を整備を実施	

今後の予定

- 河川整備基本方針と河川整備計画を策定・公表し、具体的な改修方策の検討に着手します。
- 事業採択後、第7号水門の撤去工事に着手します。
- 排水路整備の対策効果等、現地調査を実施し、必要に応じて排水路整備を実施します。

R元年度の実績

- 下流部河川改修の継続実施(護岸工事 L=299m) [県(河川)]
- 浸水対策施設基本計画を策定 [藤枝市]
- 田沼2丁目地内においてバイパス水路を整備 [藤枝市]

黒石川

対策メニュー	実施内容	実施機関	当面の対策の対象	R1までの進捗率	実績			今後の予定	
					H29	H30	R1	R2	R3
河川改修	新川橋川河川整備計画に基づく河川改修の実施	県(河川)	新川橋～高橋区間の改修 (0.4km 左右岸)	49%	護岸工整備(L=57.7m)	護岸工整備(L=135m)	護岸工整備(L=299m)	護岸工整備	高橋の架け替え工事に着手
	計画の策定と計画に基づき改修の実施	藤枝市	浸水常襲箇所の局所的な改修(黒石川上流部)	63%	高洲地区河川改修(L=35m)	下流に影響を与えない改修方策の検討	下流に影響を与えない改修方策の検討	関係機関との調整等	
下水道雨水幹線の整備	雨水幹線の整備の推進	藤枝市	流域全体	70%	浸水対策の計画検討	浸水対策の計画検討	浸水対策施設基本計画を策定	事業計画等の変更	詳細設計
排水系統(排水先)の見直し	排水路の整備状況の把握と必要な排水路の整備	焼津市	流域全体	60%	排水路の調査、排水先との調整	排水路の調査、排水先との調整	排水路の調査、排水先との調整	必要に応じて、調査や排水路の改修を実施	
		藤枝市	高洲地内 田沼2丁目地内	60%	高洲地内排水路局所改修(L=48m)	高洲地内排水路局所改修(L=44m)	田沼2丁目地内バイパス水路の整備(L=68m)	必要に応じて、調査や排水路の改修を実施	

今後の予定

- 下流部河川改修を継続して実施します。
- 浸水対策施設基本計画に基づき、事業計画を見直し、具体的な工事のための設計を行います。
- 排水路の現状を調査し、必要に応じて排水路整備を実施します。

ソフト対策 令和元年度の実績

焼津市

- 水防演習を行うとともに、ボーイスカウトの参加も依頼し、若い世代の防災意識向上のための啓発活動を行いました。【R1.6】
- 市民防災リーダー育成講座(対象80名)のカリキュラムに、水災に関する講座を組み込み、防災意識向上のための啓発活動を行いました。【R1.7】
- 小石川・黒石川の河川パトロールを実施しました。【R1.6~R1.7】
- 静岡県に対し、自治会長連合会とともに浸水対策に関連する事業の促進について、要望しました。【R1.10】
- 全自治会長に対し、台風19号の被害状況報告会を実施し、防災意識向上のための啓発活動を行いました。【R1.10】
- 土のうステーションを、小石川流域に3基、黒石川流域に1基増設しました。

藤枝市

- 出前講座(5箇所396人)や地域防災連絡会(11地区1,130人)を開催し、地域住民の防災意識向上のための啓発活動を行いました。
- 水防訓練を行い、地域住民参加による水のうを活用した止水訓練を実施し、集中豪雨対策の紹介・検証を行いました。【R1.5】
- 藤枝市防災減災ガイド、ハザードカルテを全戸に配布しました。
- 小石川・黒石川の河川パトロールを実施しました。【R1.6~R1.7】



水防演習での土のう作り体験(焼津市)



住民参加による止水訓練(藤枝市)



防災リーダー育成講座(焼津市)



出前講座(藤枝市)

「志太様原地域大規模氾濫減災協議会」について

「水防災意識社会の再構築」に向けて、小石川・黒石川流域を含む島田土木事務所管内の全市町・全流域を対象とした減災協議会です。「水防災意識社会の再構築」とは、「**堤防などの施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生する。**」との前提にたつて、大洪水が発生した場合でも、**逃げ遅れをなくす、経済被害を最小化する**など、減災に向けた取組を社会全体で推進する取組です。「大井川大規模氾濫に関する減災対策協議会(H28.4設立)」と「志太様原地域豪雨災害減災協議会(H29.2設立)」をH30.5に統合したもので、目標の達成に向けて、対策を実施していきます。

▶ホームページ URL: <http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/gensai/index.html>

▶ 皆様の声をぜひお聞かせ下さい。お待ちしております。

- 静岡県島田土木事務所 企画検査課 TEL:0547-37-5272
- “ ” 工事第2課 TEL:0547-37-1086
- 焼津市 河川課 TEL:054-626-1118
- 藤枝市 河川課 TEL:054-643-3516

▶ アクションプランのHP URL: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shimada/> ●●●

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2019年度 (R1) 末時点進捗率の評価 (◎: 計画進捗率を上回る) (○: 計画進捗率通り) (▲: 計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)			
1 河川改修	河川整備基本方針及び河川整備計画の策定と計画に基づく河川改修の実施	県 (河川)	平成26年度から基本高水及び河川整備計画の検討に着手。	「計画」 河川整備基本方針の策定に向けて県河川審議会を審議。 (進捗率: 20%) 「実績」 県河川審議会にて現状と課題を審議。 (進捗率: 10%)	「計画」 河川整備基本方針の策定・公表。河川整備計画の策定に向けた検討を実施。 (進捗率: 40%) 「実績」 県河川審議会にて治水計画を審議。 (進捗率: 15%)	「計画 (見直し)」 河川整備基本方針の策定に向けて河川審議会を審議・公表。河川整備計画の策定に向けて流域委員会を設置し、内容を審議。 (進捗率: 40%) 「実績」 河川整備基本方針の策定に向けて治水計画の検討を実施。河川整備計画の策定に向けて、住民アンケートを実施。 (進捗率: 25%)	「計画 (見直し)」 河川整備基本方針の策定に向けて河川審議会を審議・公表。河川整備計画の策定に向けて流域委員会を設置し、内容を審議。 (進捗率: 50%)	「計画 (見直し)」 流域委員会での審議や住民意見聴取を経て、河川整備計画を策定・公表。河川整備計画に基づく河川改修に向けた検討に着手。 (進捗率: 100%)	▲	計画策定に必要な治水計画の検討や国土交通省との協議等の手続きを早急に進め、令和2年度上半期の河川審議会にて審議できるように検討の進捗を図る必要がある。	検討作業や手続き等の工程管理を適切に行い、スケジュールに沿った計画検討に努める。
	暫定計画及び将来計画の策定と計画に基づく河川改修の実施	焼津市	平成16年度から小石川沿線の浸水常襲箇所へパラペットを設置 (左右岸でL=2.7km)。	「計画」 五ヶ堀之内地区において、堤防嵩上げ等を実施 (L=30m)。 (進捗率: 20%) 「実績」 (進捗率: 20%)	「計画」 五ヶ堀之内地区において、堤防嵩上げ等を実施 (L=120m)。 (進捗率: 90%) 「実績」 五ヶ堀之内地区において、堤防嵩上げ等を実施 (L=90m)。 (進捗率: 70%)	「計画 (見直し)」 五ヶ堀之内地区において、堤防嵩上げ等を実施 (L=50m)。 (進捗率: 100%) 「実績」 五ヶ堀之内地区において、堤防嵩上げ等を実施 (L=50m)。 (進捗率: 100%)		「計画 (見直し)」 河川改修の暫定計画及び将来計画の検討を実施。	○	浸水被害の軽減効果が期待される対策実施箇所の選定が必要。	地元要望、現地調査及びシミュレーション等により対策効果が高い箇所を選定して実施する。
		藤枝市	浸水常襲箇所において、局所的な河川改修を実施。	—	「計画」 現地調査等を行い、必要に応じて浸水常襲箇所において局所的な河川改修を実施。 (進捗率: 25%) 「実績」 現地調査等を行い、必要に応じて浸水常襲箇所において局所的な河川改修の実施を検討する。 (進捗率: 25%)	「計画」 現地調査等を行い、必要に応じて浸水常襲箇所において局所的な河川改修を実施。 (進捗率: 40%) 「実績」 局所的な河川改修を実施。 (進捗率: 40%)			○	他地区との優先度を精査し、必要な予算確保に努めるとともに、地元との協力を得て工事を実施する。	現地調査やシミュレーション等により対策効果が高い箇所を選定し、改修が必要な箇所については実施する。
2 下水道 (雨水幹線) の整備	下水道 (雨水幹線) の整備による流下能力の確保 (目標規模: 年超過確率概ね1/7の降雨規模)	焼津市	流域内の雨水幹線の整備完了。	—	—	—	—	—	—	—	—
		藤枝市	平成28年度末に3排水区中1排水区の整備が完了 (一部未整備を含む)。	「計画」 下水道事業による浸水対策を実施するために雨水管理総合計画を策定し、そのシミュレーション結果等を踏まえ、全体計画を策定。 (進捗率: 20%) 「実績」 効果的かつ総合的な浸水対策の実施を図るため、雨水管理総合計画を策定を進めた。 (進捗率: 20%)	「計画」 雨水管理総合計画及び全体計画に基づき、下水道事業による雨水幹線の整備を検討。 (進捗率: 40%) 「実績」 流域の水路整備及びフラップゲート設置について検討する。 (進捗率: 40%)	「計画 (見直し)」 必要に応じて水路整備を実施する。 (進捗率: 60%) 「実績」 台風19号による道路冠水地区を検証し、効果的な整備箇所を検討。 (進捗率: 50%)		▲	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。他の浸水常襲地区における対策との優先度について調整が必要。	他地区との優先度を考慮し、必要な予算確保に努めるとともに、地元との協力を得て工事を実施する。	
3 農業取水堰の改良・統廃合	河川改修に合わせた農業取水堰の改良または統廃合に向けた協議の推進	土地改良区 県 (農林)	全ての水門は水位感知システムにより自動的に水門上流部から下流へ放流が可能。常時施設点検を実施し、設備の故障や老朽化に備えた予防保全を実施。	「計画」 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議を実施。 (進捗率: 0%) 「実績」 (進捗率: 0%)	「計画」 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議を実施。 (進捗率: 0%) 「実績」 撤去工事の測量設計及び事業計画作成を業務委託。 (進捗率: 30%)	「計画 (見直し)」 事業計画書を作成し、国庫補助事業の採択申請を実施。撤去工事にかかる関係機関との協議を実施。 (進捗率: 50%) 「実績」 上記対策を実施。 (進捗率: 50%)	「計画 (見直し)」 事業採択後、撤去工事を実施。撤去工事にかかる関係機関及び地元と協議。 (進捗率: 100%)	○	・水門の撤去方法に関する関係機関との協議。 ・早期事業化に向けた予算の確保。 ・施工時の騒音振動対策、通行規制等にかかる地元住民との合意形成。	速やかに撤去計画の策定及び関係機関との工事協議に着手し、早期の事業実施を目指す。	
		焼津市	—	「計画」 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議を実施。市関係課・関係自治会との協議 (第1回) を実施。 (進捗率: 20%) 「実績」 (進捗率: 20%)	「計画」 第7号水門からの取水機能の代替措置に関する調査を実施。第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議や地元住民との調整を実施。 (進捗率: 40%) 「実績」 上記調査、調整を実施。 (進捗率: 30%)	「計画 (見直し)」 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議や地元住民との調整を実施。 (進捗率: 60%) 「実績」 上記調査、調整を実施。 (進捗率: 60%)	「計画 (見直し)」 従来環境用水が流れていた主たる水路については、自治会から要望があれば、別案件として協議していく。 (進捗率: 80%)	○	第7号水門からの取水機能の代替措置の確保や地元住民の合意形成を図る必要がある。	第7号水門からの取水機能の代替措置に関する調査・検討を実施し、関係機関との協議や地元住民との調整を計画的に進め、早期に対策方針を決定する。	
		藤枝市	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 排水系統 (排水先) の見直し	排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施	焼津市	—	「計画」 JR橋梁付近及び豊田地区の浸水被害を軽減する流域の排水系統の調査を実施。 (進捗率: 0%) 「実績」 (進捗率: 0%)	「計画」 JR橋梁付近: 上流部で雨水を分流する排水路の整備を実施。豊田地区: 雨水を分注する排水路及び逆流防止施設 (フラップゲート: 小型N=1基) の整備を実施。 (進捗率: 60%) 「実績」 上記対策を実施。 (進捗率: 60%)	「計画 (見直し)」 JR橋梁付近: 対策の効果を検証し、追加対策の必要性等を検討。豊田地区: 対策の効果を検証し、追加対策の必要性等を検討。 (進捗率: 60%) 「実績」 上記対策を実施。 (進捗率: 60%)	「計画 (見直し)」 JR橋梁付近: 対策の効果を検証し、追加対策の必要性等を検討。豊田地区: 対策の効果を検証し、追加対策の必要性等を検討。 (進捗率: 80%)	○	対策実施に必要な予算の確保が必要。	必要な予算確保に努めるとともに、地元との協力を得て工事を完了させる。	
		藤枝市	排水の分水や能力不足の排水路のバイパス水路を整備。	「計画」 現況排水路の排水系統の調査を実施。 (進捗率: 20%) 「実績」 (進捗率: 20%)	「計画」 現況排水路の排水系統を調査し、流下能力評価を実施。流下能力不足の排水路の改修に向けた調整を実施。 (進捗率: 40%) 「実績」 (進捗率: 20%)	「計画」 排水能力不足水路のバイパス水路を整備し、排水の分水を実施。 (進捗率: 40%) 「実績」 台風19号による道路冠水地区を検証し、効果的な整備箇所を検討。 (進捗率: 30%)	「計画 (見直し)」 排水能力不足水路のバイパス水路を整備し、排水の分水を実施。 (進捗率: 60%)	▲	対策実施に必要な予算の確保が必要。対策実施に伴い浸水箇所が他に移ることが無いように注意が必要。既設水路の流下能力を調査して排水経路を把握し、低予算で実効性のある箇所を選定する必要がある。他の浸水常襲地区における対策との優先度について調整が必要。	他地区との優先度を考慮し、必要な予算確保に努めるとともに、地元との協力を得て工事を実施する。関係機関と協議の上、比較的余裕のある経路に低予算で分配できる工法を検討する。	
5 河川の適切な維持管理	必要に応じて河川内の堆積土砂の浚渫や樹木の伐採などによる流下断面の確保	県 (河川)	河川状況の巡視し、必要に応じて浚渫等を実施。	「計画」 河川巡視を年1回実施。 (進捗率: 20%) 「実績」 河川巡視をH29.5に実施。 (進捗率: 20%)	「計画」 河川巡視を年1回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浚渫や除草等を実施。リバーフレンドシップ制度の周知と登録を推進。 (進捗率: 40%) 「実績」 河川巡視をH30.5に実施。 (進捗率: 40%)	「計画」 河川巡視を年1回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浚渫や除草等を実施。リバーフレンドシップ制度の周知と登録を推進。 (進捗率: 60%) 「実績」 河川巡視をR1.5に実施。 (進捗率: 60%)		○	現状を的確に把握し、適時・適切に対応する必要がある。	河川巡視を計画的に実施するとともに、対応に必要な予算確保に努める。	
		焼津市	河川巡視を行い、樹木伐採等を実施。市内全域で年2回、地域住民が側溝・河川清掃を実施。リバーフレンドシップ制度の登録 (1団体)。	「計画」 河川巡視を年1回 (H29.7) 実施。三ヶ名地区で浚渫 (V=90m3) を実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施。リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 (進捗率: 20%) 「実績」 (進捗率: 20%)	「計画」 河川巡視を年1回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浚渫や樹木伐採等を実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施。リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 (進捗率: 40%) 「実績」 河川巡視を年1回 (H30.7) 実施。ほか、上記対策を実施。 (進捗率: 40%)	「計画」 河川巡視を年1回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浚渫や除草等を実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施予定。リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 (進捗率: 60%) 「実績」 河川巡視を年1回 (R1.7) 実施。ほか、上記対策を実施。 (進捗率: 60%)		○	定期的に河川巡視を行い、河川の状況を的確に把握する必要がある。	定期的に河川巡視を行い、必要な対策を実施する。	
		藤枝市	河川状況の巡視し、必要に応じて浚渫などを実施。	「計画」 河川巡視を年8回実施。地域住民が年1回、側溝・河川清掃を実施。 (進捗率: 20%) 「実績」 (進捗率: 20%)	「計画」 河川巡視を年8回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浚渫や除草等を実施。地域住民が年1回、側溝・河川清掃を実施予定。 (進捗率: 40%) 「実績」 (進捗率: 40%)	「計画」 河川巡視を年8回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浚渫や除草等を実施。地域住民が年1回、側溝・河川清掃を実施予定。 (進捗率: 60%) 「実績」 (進捗率: 60%)		○	定期的に河川巡視を行い、現状を的確に把握し、適切に対応する必要がある。	河川巡視を計画的に実施するとともに、対応に必要な予算確保に努める。	

ハード対策

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2019年度 (R1) 末時点進捗率の評価 (◎:計画進捗率を上回る) (○:計画進捗率通り) (▲:計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)			
6	雨水貯留浸透施設の設置	県 (河川)	—	<<計画>> 県管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能か検討を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 県管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能か検討を実施。整備可能な県管理施設における整備に向けて関係機関との調整を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における整備に向けて貯留量等を検討し、整備計画を立案。 (進捗率: 60%) <<実績>> 県立徳津中央高校はグラウンド改修工事中で整備不可を確認。 (進捗率: 10%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における雨水貯留浸透施設の整備に着手。 (進捗率: 80%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における雨水貯留浸透施設の整備を実施。 (進捗率: 100%)	▲	実現性や実施方法を検討し、対象施設を選定して整備計画を立案する必要がある。	対象施設の選定、整備計画の立案を目指し、施設管理部門との調整を進める。
		焼津市	平成16年度～平成26年度に公共施設で2,100m ³ の雨水貯留施設を設置。	<<計画>> 市管理施設への雨水貯留浸透施設の整備について、関係課と調整を行った。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 市管理施設への雨水貯留浸透施設の整備について、関係課と調整を行った。整備可能な場合、整備に向けて関係機関との調整を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> 豊田公民館整備について関係機関と協議を実施。 (進捗率: 40%)	<<計画>> 市管理施設への雨水貯留浸透施設の整備について、関係課と調整を実施。整備可能な場合、整備に向けて関係機関との調整を実施。 (進捗率: 60%) <<実績>> 豊田公民館整備について関係機関と協議を継続的に実施。 (進捗率: 60%)			○	雨水貯留浸透施設の設置について関係課と調整し、実施可能な対策を検討する必要がある。	雨水貯留浸透施設の設置について関係課と連絡を密にし、計画的に調整を進める。
		藤枝市	—	<<計画>> 下水道事業による浸水対策を実施するために雨水管理総合計画を策定し、そのシミュレーション結果等を踏まえ、全体計画を策定。 (進捗率: 30%) <<実績>> 効果的かつ総合的な浸水対策の実施を図るため、雨水管理総合計画の策定を進めた。 (進捗率: 20%)	<<計画>> 雨水管理総合計画及び全体計画に基づき、下水道事業による雨水幹線の整備を検討。 (進捗率: 40%) <<実績>> 雨水貯留浸透施設の整備可能な箇所について検討。 (進捗率: 40%)	<<計画>> 雨水貯留浸透施設の整備可能な箇所について検討。 (進捗率: 50%) <<実績>> 雨水貯留浸透施設の整備可能な箇所について検討。 (進捗率: 50%)			○	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。	他地区との優先度を考慮し、必要予算額確保に努める。
7	透水性舗装の整備	県 (河川)	—	—	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 50%) <<実績>> (進捗率: 0%)			▲	透水性舗装を施工する箇所のルール作りが必要。	透水性舗装を実施するため、道路管理者と協議を進め、整備可能な箇所の透水性舗装を実施する。
		焼津市	市道中橋通天王線の歩道を透水性舗装で整備 (A=2,100m ²)。	—	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> 三ヶ名小児童数線整備について関係機関と協議を実施。 (進捗率: 25%)	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 50%) <<実績>> 三ヶ名小児童数線整備について関係機関と協議を実施。 (進捗率: 50%)			○	道路管理者との連携が必要。	道路管理者と連携し、歩道等は積極的に透水性舗装を実施する。
		藤枝市	—	—	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)			▲	透水性舗装を施工する箇所のルール作りが必要。新設道路の整備計画がなく、新たに透水性舗装を実施する機会が少ない。	透水性舗装を実施するため、道路管理者と協議を進める。新設道路整備に透水性舗装を採用するように努めることにも、民間開発時にも推奨する。
8	各戸での流出抑制施設設置の推進	焼津市	開発許可が必要な1,000m ² 以上の宅地分譲事業に、各区画毎の雨水貯留浸透施設を設置。	<<計画>> 各戸での流出抑制のため、宅地分譲開発において雨水貯留浸透樹を設置。 設置実績: 3件、25区画 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 各戸での流出抑制施設の設置を促進する。 (進捗率: 40%) <<実績>> 設置実績: 4件、39区画 (進捗率: 40%)	<<計画>> 各戸での流出抑制施設の設置を促進する。 (進捗率: 60%) <<実績>> 設置実績: 3件、28区画 (進捗率: 60%)			○	各戸での雨水流出抑制施設の設置の必要性を説明する必要がある。	当該流域の現状と課題及び雨水流出抑制施設の設置について説明を行う。
		藤枝市	—	—	<<計画>> 各戸での流出抑制施設の設置を啓発。 (進捗率: 25%) <<実績>> 宅地分譲開発において雨水貯留浸透樹を設置。 設置実績: 3件、24区画 (進捗率: 25%)	<<計画>> 平成32年度から雨水貯留浸透施設設置補助金制度創設に向け浸透適地の選定等の検討を進める。 (進捗率: 50%) <<実績>> 浸透適地の検討実施と宅地分譲開発において貯留浸透樹を設置。 設置実績: 2件、1区画 (進捗率: 50%)	<<計画 (見直し)>> 雨水貯留浸透施設設置補助金制度を創設し、各戸での流出抑制施設の設置を推進する。 (進捗率: 100%)		○	浸透適地の選定と補助金制度創設のための財源確保が必要。	地下水位を既存資料等で調査し、浸透適地を選定する。他市町の事例を参考に補助要件、補助額等を決定する。
		流域住民	—	<<計画>> 各戸での雨水貯留タンクや浸透樹等の流出抑制施設の設置を推進する。 <<実績>> 小石川流域内における各戸での流出抑制施設の設置実績: 3件、25区画。	<<計画>> 各戸での雨水貯留タンクや浸透樹等の流出抑制施設の設置を推進する。 <<実績>> 小石川流域内における各戸での流出抑制施設の設置実績: 7件、63区画。	<<計画>> 各戸での雨水貯留タンクや浸透樹等の流出抑制施設の設置を推進する。 <<実績>> 小石川流域内における各戸での流出抑制施設の設置実績: 5件、43区画。			—	—	—
9	農地の保水機能の保全	焼津市	農業者へ農地保全に関する協力を依頼。	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)			○	当該流域における農地の保水機能を保全する必要がある。	既存資料等を活用したPR方法について検討する。
		藤枝市	農業者へ農地保全に関する協力を依頼。	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)			○	当該流域における農地の保水機能を保全することの重要性を周知する必要がある。	農地の保水機能に関する啓発方法について検討し、実施する。
10	防災調整池などの有効利用	焼津市	防災調整池の管理者に対する適正な指導を実施。	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)			○	防災調整池を適正に維持管理する必要がある。	適正な管理が行われるよう、必要に応じて管理者に説明・指導を行う。
		藤枝市	防災調整池の管理者に対する適正な指導を実施。	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)			○	当該流域における防災調整池の重要性を周知する必要がある。	防災調整池の適正な管理が行われるよう、必要に応じて管理者に指導する。

ハード対策
流出抑制対策

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2019年度 (R1) 末時点進捗率の評価 (◎: 計画進捗率を上回る) (○: 計画進捗率通り) (▲: 計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)			
11	洪水ハザードマップなどの作成・周知	県 (河川)	インターネットにより浸水想定区域図 (H21年4月公表) を公開。	「計画・実績」インターネットによる浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」インターネットに加え、水防訓練時の説明や出前講座などにより浸水想定区域図を周知した。	「計画・実績」インターネットに加え、水防訓練時の説明や出前講座などにより浸水想定区域図を周知した。			—	特になし	—
		焼津市	浸水想定区域図が掲載されている県のホームページを市民に案内。	「計画・実績」県のホームページを案内し、浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」県のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知した。	「計画・実績」県のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知した。			—	特になし	—
		藤枝市	—	「計画・実績」県のホームページを案内し、浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」県のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知した。	「計画・実績」県のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知した。			—	特になし	—
	焼津市	洪水ハザードマップ (H18年3月公表) を各戸配布し、市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページでの閲覧を周知した。	「計画 (見直し)・実績」想定最大規模降雨に対するハザードマップに更新するとともに、市のホームページでの閲覧を周知した。	「計画 (見直し)」ハザードマップを印刷予定。		—	ハザードマップ更新や増刷に伴う予算の確保。	令和元年度からハザードマップを改訂する予定	
	藤枝市	洪水ハザードマップ (H18年4月公表) を各戸配布し、市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページで公開。	「計画・実績」想定最大規模降雨に対するハザードマップに更新するとともに、市のホームページでの閲覧を周知した。	「計画 (見直し)」市のホームページで公開。		—	ハザードマップの更新や印刷に伴う予算の確保。	令和元年度にハザードマップを改訂する予定	
12	氾濫危険水位などの設定	県 (河川)	市長の避難勧告などの発令判断の目安となる氾濫危険水位などの設定	「計画・実績」新たに水位周知河川に指定する候補河川に選定。	「計画・実績」設定に必要な水位データの蓄積を行った。	「計画・実績」設定に必要な水位データの蓄積を行った。		「計画」検討により水位周知河川に指定が可能であれば指定し、氾濫危険水位などを設定する。	—	水位周知河川の指定や氾濫危険水位の設定に当たっては関係市町との調整が必要。	検討の各段階において関係市町と調整しながら進めていく。
13	水位観測施設・監視カメラの設置	県 (河川)	—	「計画・実績」新たな水位計の設置候補河川に選定。	「計画・実績」堤橋に危機管理型水位計 (N=1基) を設置。	「計画・実績」量水標、CCTVカメラなどの整備・拡充を検討。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような設置機器や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた設置機器や設置位置の検討を行う。
		焼津市	—	「計画・実績」豊田公民館にWEBカメラ (N=1基) を設置。	「計画・実績」量水標、CCTVカメラなどの整備・拡充の検討。	「計画・実績」量水標、CCTVカメラなどの整備・拡充の検討。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような機器の設置や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた機器の設置や設置位置の検討を行う。
		藤枝市	—	「計画・実績」IoTの通信基盤LPWAを活用した水位計 (N=1基) を設置。	「計画・実績」水位計、量水標などの整備・拡充の検討し、必要があれば予算要望していく。	「計画・実績」水位計、量水標などの整備・拡充の検討し、必要があれば予算要望していく。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた機器や設置位置の検討を行い、必要があれば機器の増設を行う。
14	防災情報の共有化	県 (河川)	インターネット、携帯電話・スマートフォン、ケーブルテレビ、地上デジタルテレビなどを活用したリアルタイムの雨量・水位・防災情報の提供やプッシュ型の情報提供、双方向通信による民間からの情報収集	「計画・実績」新たな水位計の設置候補河川に選定。サイボスレーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。	「計画・実績」防災情報の追加や新たな情報提供方法を検討。新たに設置する水位計のデータも含め、サイボスレーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。	「計画・実績」防災情報の追加や新たな情報提供方法を検討。新たに設置した水位計のデータも含め、サイボスレーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。			—	特になし	—
		焼津市	—	「計画・実績」豊田公民館にWEBカメラ (N=1基) を設置。焼津市水防監視システムを整備。やいづ防災メール、しずおか気象・防災情報メールへの登録を呼びかけた。	「計画・実績」焼津市水防監視システム拡充と周知。やいづ防災メール、しずおか気象・防災情報メールへの登録を呼びかけた。	「計画・実績」焼津市水防監視システム拡充と周知。やいづ防災メール、しずおか気象・防災情報メールへの登録を呼びかけた。			—	特になし	—
		藤枝市	—	「計画・実績」IoTの通信基盤LPWAを活用した水位計を設置。市ホームページやメール配信サービスによる防災情報などを提供。	「計画」市ホームページやメール配信サービスによる防災情報などを提供。「実績」広報誌「しずおか」8月5日号に水害に関する特集記事を掲載。	「計画・実績」雨量・水位・防災情報等を提供する危機管理用GISを構築。「実績」危機管理用GIS11月5日号に水害に関する特集記事を掲載。			—	特になし	—
15	防災意識の啓発	県 (河川)	—	「計画・実績」パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防災教育の推進。	「計画・実績」パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防災教育の推進。	「計画・実績」パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防災教育の推進。			—	当該流域の浸水被害の軽減を目的とした取組を展開する必要がある。	当該流域の現状と課題や本アクションプランの取組等に関する啓発活動の展開について検討する。
		焼津市	—	「計画・実績」毎年自衛隊と連携し、水防演習を実施。市広報誌において、水害に関する特集を掲載。排水ポンプ車の操作訓練を自治会に公開。防災出前講座を実施。	「計画」水防演習、防災出前講座、防災学習室などを通して、防災意識の啓発活動に取り組む。「実績」水防演習 (H30.6) 防災リーダー育成講座 (H30.7)	「計画」水防演習、防災出前講座、防災学習室などを通して、防災意識の啓発活動に取り組む。「実績」水防演習 (R1.6) 防災リーダー育成講座 (R1.7) 台風19号の被害報告会を実施 (R1.10)			—	風水害に関する意識の啓発が必要。	水防演習、広報誌、訓練、防災出前講座、防災学習室等、様々なツールで風水害に関する意識の啓発を行う。
		藤枝市	—	「計画・実績」毎年5月に水防訓練を実施。平成28年度に4箇所 (累計193人) で出前講座を実施。平成28年度に11箇所の地区防災連絡会 (累計752人) において風水害に関する講演を実施。	「計画」水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組む。「実績」出前講座: 15回 (累計695人) 地区防災連絡会: 9地区 (累計485人) 水害講演会 (3月実施予定)	「計画」水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組む。「実績」出前講座: 14回 (累計746人) 地区防災連絡会: 11地区 (累計1130人)			—	風水害に対する防災意識を向上させるための啓発が必要	風水害に対する防災意識向上のため、水防訓練や出前講座による啓発を行う。
		流域住民	—	「計画・実績」県や市町などが開催する出前講座や水害図上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。	「計画・実績」県や市町などが開催する出前講座や水害図上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。	「計画・実績」県や市町などが開催する出前講座や水害図上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。			—	—	—

ソフト対策

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2019年度 (R1) 末時点進捗率の評価 (◎: 計画進捗率を上回る) (○: 計画進捗率通り) (▲: 計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)			
ソフト対策	16 水防活動の支援	県 (河川)	—	「計画・実績」土のうステーションや水防資材保管場所を検討。	「計画・実績」土のうステーションや水防資材保管場所の設置可能箇所の現地調査を実施し、設置可能箇所があれば予算要望する。	「計画・実績」土のうステーションや水防資材保管場所の設置を検討。	「計画」水防資材の補充など水防活動の支援を実施。	→	—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、設置箇所等を決定する。
		焼津市	平成26年度に排水ポンプ車を配備し、平成27年度から運用を開始。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」土のうステーションの設置について検討。排水ポンプ車を水防活動に活用。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」土のうステーションを1箇所設置した。排水ポンプ車を水防活動に活用。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」土のうステーションを3基増設した。排水ポンプ車を水防活動に活用。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	→	—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、設置箇所等を決定する。	
		藤枝市	水防倉庫内の資材を補充している。	「計画・実績」水防資材の適正な管理を実施。	「計画・実績」土のうステーションや水防資材保管場所の設置可能箇所の現地調査を実施し、設置について検討する。水防資材の適正な管理を実施。	「計画・実績」水防資材保管場所の設置可能箇所の現地調査を実施し、設置について検討する。	→	—	消防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	消防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、水防資材の充実を図る。	
	17 樋門・樋管の適正管理	県 (河川)	施設管理者に対して、確実な点検や監視の実施や適正な運用・維持管理を指導。	「計画・実績」施設管理者に対して、樋管・樋門の確実な点検や監視の実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。	「計画・実績」施設管理者に対して、樋管・樋門の確実な点検や監視の実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。	「計画・実績」県や市町などが開催する出前講座や水害図上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。	→	—	特になし	—	
		藤枝市	大井川土地改良区や地元部農会役員と連携し樋門などを閉鎖することで、適正な運用に努めている。	「計画・実績」樋管・樋門の確実な点検や監視の実施、適正な運用・維持管理に努めた。	「計画・実績」樋管・樋門の確実な点検や監視の実施、適正な運用・維持管理に努めた。	「計画・実績」樋管・樋門の確実な点検や監視の実施、適正な運用・維持管理に努めた。	→	—	特になし	—	
	18 取水施設の適正管理	焼津市	大雨の前に取水施設の閉鎖状況のバトロールを行い、状況に応じて閉鎖作業を実施。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	→	—	特になし	—	
		土地改良区	注意報や警報が発令される際の水防体制の実施、洪水時の適正な運用や河川管理者との連絡体制の確保 本川の1号～7号水門は、洪水時の自動感知システムで放流。地域の管理人や委託業者による出水時に現地確認を実施。毎年、かんがい期前に点検を実施し、作動確認を実施。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	→	—	特になし	—	
	19 土地利用の適正指導	焼津市	焼津市土地利用指導要綱に基づき、1,000㎡以上の土地利用については、調整池整備を開発者に指導。都市計画法に基づき、市街化区域及び市街化調整区域の1,000㎡以上の開発行為については、調整池整備を開発者に指導。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	→	—	特になし	—	
		藤枝市	藤枝市土地利用に関する指導要綱に基づき、1,000㎡以上の土地利用・開発行為については、調整池整備を開発者に指導。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	→	—	特になし	—	
	20 住居改良への支援	焼津市	過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	→	—	特になし	—	
		藤枝市	—	「計画」既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言。	「計画」既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言。	「計画・実績」既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言。	→	—	特になし	—	

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2019年度 (R1) 末時点進捗率の評価 (◎: 計画進捗率を上回る) (○: 計画進捗率通り) (▲: 計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針	
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)				
ハード対策	河川改修	県 (河川)	H24～H28で河口から0.2kmまでの河川改修を実施。	<<計画>> 河川改修 (左岸: 鋼管矢板護岸工L=38.2m, 右岸: 鋼管矢板護岸工L=40.3m) を実施。 (進捗率: 16%) <<実績>> 河川改修 (左岸: 鋼管矢板護岸工L=38.2m, 右岸: 鋼管矢板護岸工L=19.5m) を実施。 (進捗率: 9%)	<<計画>> 河川整備計画に基づく河川改修を実施。 (進捗率: 33%) <<実績>> 河川改修 (左岸: 鋼管矢板護岸工L=80m, 右岸: 鋼管矢板護岸工L=55m) を実施。 (進捗率: 28%)	<<計画>> 河川整備計画に基づく河川改修を実施。 (進捗率: 49%) <<実績>> 河川改修 (左岸: 鋼管矢板護岸工L=54m, 右岸: ブロック積護岸工L=180m, 右岸: ブロック積護岸工L=115m) を実施。 (進捗率: 49%)	<<計画 (見直し)>> 河川整備計画に基づく河川改修を実施。 (進捗率: 75%)	<<計画>> 河川整備計画に基づく河川改修を実施。 高橋架け替え工を実施。 (進捗率: 100%)	○	計画的な事業進捗により、早期効果発現を目指す必要がある。	工事実施に必要な予算確保に努める。	
			焼津市	H7～H27で (準) 弘の川の河川改修を実施 (L=1.2km)。	—	—	—	—	—	—	—	—
		藤枝市	浸水常設箇所において、局所的な河川改修を実施。	<<計画>> 高洲地区において局所的な河川改修を実施 (L=35m)。 (進捗率: 50%) <<実績>> (進捗率: 50%)	<<計画>> 現地調査等を行い、必要に応じて浸水常設箇所において局所的な河川改修を実施。 (進捗率: 63%) <<実績>> 下流への影響を与えない範囲での河川改修の実施について検討。 (進捗率: 63%)	<<計画>> 現地調査等を行い、必要に応じて浸水常設箇所において局所的な河川改修を実施。 (進捗率: 70%) <<実績>> 下流への影響を与えない範囲での河川改修の実施について検討。 (進捗率: 63%)	—	—	▲	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。下水道 (雨水幹線) 整備による浸水対策計画と調整し、効率的な整備箇所を検討するとともに、下流域との調整が必要。	下流に影響を与えない範囲での暫定的な河川改修実施に向け、河川断面等を検討する。	
	2	下水道 (雨水幹線) の整備	焼津市	流域内の雨水幹線の整備完了。	—	—	—	—	—	—	—	—
				藤枝市	平成28年度末までに、9排水区中4排水区の整備が完了 (一部未整備を含む)。	<<計画>> 下水道事業による浸水対策を実施するために雨水管理総合計画を策定し、そのシミュレーション結果等を踏まえ、全体計画を策定。 (進捗率: 32%) <<実績>> 効率的かつ総合的な浸水対策の実施を図るため、雨水管理総合計画を策定を進めた。 (進捗率: 32%)	<<計画>> 下水道事業による浸水対策を実施するための雨水施設設計及び基本設計を策定。 (進捗率: 59%) <<実績>> 雨水幹線整備のための基本設計を策定する。 (進捗率: 59%)	<<計画>> 浸水対策施設基本計画を策定し、下水道事業による雨水幹線の整備を計画。 (進捗率: 70%) <<実績>> 浸水対策施設基本計画を策定。 (進捗率: 70%)	<<計画>> 浸水対策施設基本計画に基づき、雨水幹線整備箇所を選定し、下水道事業計画等の変更を作成・申請。 (進捗率: 80%)	○	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。	関係機関との具体的な調整を進め、早期工事着手に必要な予算確保に努める。
	3	農業取水堰の改良・統廃合	土地改良区 (農林) 焼津市 藤枝市	全ての水門は水位感知システムにより自動的に水門上流部から下流へ放流が可能。常時施設点検を実施し、設備の故障や老朽化に備えた予防保全を実施。	<<計画>> 施設点検を実施し、設備の故障などによる洪水時の操作遅れなどの予防保全に努める。 (進捗率: 100%) <<実績>> (進捗率: 100%)	<<計画>> 施設点検を実施し、設備の故障などによる洪水時の操作遅れなどの予防保全に努める。 (進捗率: 100%) <<実績>> (進捗率: 100%)	<<計画>> 施設点検を実施し、設備の故障などによる洪水時の操作遅れなどの予防保全に努める。 (進捗率: 100%) <<実績>> (進捗率: 100%)	—	—	○	特になし	—
				焼津市	流域内の水路整備を実施。	<<計画>> 地域の要望を踏まえ、現況排水路を測量・調査し、修繕工を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 必要に応じて、現況排水路の排水系統を調査し、排水路の改修や排水先との調整を行う。 (進捗率: 40%) <<実績>> 上記対応を実施した。 (進捗率: 40%)	<<計画>> 必要に応じて、現況排水路の排水系統を調査し、排水路の改修や排水先との調整を行う。 (進捗率: 60%) <<実績>> 上記対応を実施した。 (進捗率: 60%)	—	○	対策実施に必要な予算の確保や地域住民との調整が必要。	必要な予算確保に努めるとともに、地域住民との調整を図る。
	4	排水系統 (排水先) の見直し	焼津市 藤枝市	排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施	<<計画>> 現況排水路の排水系統の調査を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> 高洲地区において流下能力不足の排水路の局所的な改修 (L=40m) を実施。 (進捗率: 31%)	<<計画>> 現況排水路の排水系統を調査し、流下能力不足の排水路の改修に向けた排水先との調整を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> 高洲地区において流下能力不足の排水路の局所的な改修 (L=40m) を実施。 (進捗率: 50%)	<<計画>> 現地調査を行い、必要に応じて排水路の改修を実施。 (進捗率: 60%) <<実績>> 田沼二丁目地区においてパイパス水路 (L=68m) を整備。 (進捗率: 60%)	—	○	対策実施に必要な予算の確保が必要。対策実施に伴い浸水管所が地に移ることが無いように注意が必要。	必要な予算確保に努めるとともに、地元の協力を得て工事を実施する。	
				藤枝市	排水の分水や能力不足の排水路のバイパス水路の整備を実施。	<<計画>> 現況排水路の排水系統を調査し、流下能力不足の排水路の改修に向けた排水先との調整を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> 高洲地区において流下能力不足の排水路の局所的な改修 (L=40m) を実施。 (進捗率: 50%)	<<計画>> 現地調査を行い、必要に応じて排水路の改修を実施。 (進捗率: 60%) <<実績>> 田沼二丁目地区においてパイパス水路 (L=68m) を整備。 (進捗率: 60%)	—	○	対策実施に必要な予算の確保が必要。対策実施に伴い浸水管所が地に移ることが無いように注意が必要。	必要な予算確保に努めるとともに、地元の協力を得て工事を実施する。	
	5	河川の適切な維持管理	県 (河川)	河川状況の巡視し、必要に応じて浸漬等を実施。	<<計画>> 河川巡視を年1回実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> 河川巡視をH29.5に実施。 (進捗率: 20%)	<<計画>> 河川巡視を年1回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漬や除草等を実施。リバーフレンドシップ制度の周知と登録を推進。 (進捗率: 40%) <<実績>> 河川巡視をH30.5に実施。 (進捗率: 40%)	<<計画>> 河川巡視を年1回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漬や除草等を実施。リバーフレンドシップ制度の周知と登録を推進。 (進捗率: 60%) <<実績>> 河川巡視をR1.5に実施。 (進捗率: 60%)	—	○	現状を的確に把握し、適時・適切に対応する必要がある。	河川巡視を計画的に実施するとともに、対応に必要な予算確保に努める。	
				焼津市	河川巡視を行い、樹木伐採等を実施。市内全域で年2回、地域住民が側溝・河川清掃を実施。リバーフレンドシップ制度の登録 (3団体)。	<<計画>> 河川巡視を年1回 (H29.7) 実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施。リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 河川巡視を年1回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漬や樹木伐採等を実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施予定。リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 (進捗率: 40%) <<実績>> 河川巡視を年1回 (H30.7) 実施。ほか、上記対応を実施。 (進捗率: 40%)	<<計画>> 河川巡視を年1回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漬や樹木伐採等を実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施予定。リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 (進捗率: 60%) <<実績>> 河川巡視を年1回 (H30.7) 実施。ほか、上記対応を実施。 (進捗率: 60%)	—	○	定期的に河川巡視を行い、河川状況の把握に努める必要がある。	定期的に河川巡視を行い、必要な対策を実施する。
			藤枝市	河川状況の巡視し、必要に応じて浸漬などを実施。	<<計画>> 河川巡視を年8回実施。高洲地区で除草 (A=50m2) を実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 河川巡視を年8回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漬や除草等を実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施予定。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 河川巡視を年8回実施予定。河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漬や除草等を実施。地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施予定。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)	—	○	定期的に河川巡視を行い、現状を的確に把握し、適切に対応する必要がある。	河川巡視を計画的に実施するとともに、対応に必要な予算確保に努める。	

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2019年度 (R1) 末時点進捗率の評価 (◎:計画進捗率を上回る) (○:計画進捗率通り) (▲:計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針	
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)				
6	雨水貯留浸透施設の設置	県 (河川)	—	<<計画>> 県管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能な検討を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 県管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能な検討を実施。整備可能な県管理施設における整備に向けて関係機関との調整を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における整備に向けて貯留量等を検討し、整備計画を立案。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における雨水貯留浸透施設の整備に着手。 (進捗率: 80%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における雨水貯留浸透施設の整備を実施。 (進捗率: 100%)	▲	実現性や実施方法を検討し、早期に対象施設を選定して整備計画を立案する必要がある。	早期の対象施設の選定、整備計画の立案を目指し、施設管理局との調整を進める。	
		焼津市	平成26年度に小川公園で140m3の雨水貯留施設を設置。	<<計画>> 市管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能な検討を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 市管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能な場合、整備に向けて関係機関との調整を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> 関係機関への協議を実施した。 (進捗率: 40%)	<<計画>> 市管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能な場合、整備に向けて関係機関との調整を実施。 (進捗率: 60%) <<実績>> 関係機関への協議を実施した。 (進捗率: 60%)	→	→	○	雨水貯留浸透施設の設置について関係課との調整が必要。	雨水貯留浸透施設の設置について関係課と調整を進める。	
		藤枝市	—	<<計画>> 下水道事業による浸水対策を実施するために雨水管理総合計画を策定し、そのコミュニケーション戦略等を踏まえ、全体計画を策定。 (進捗率: 20%) <<実績>> 効率的かつ総合的な浸水対策の実施を図るため、雨水管理総合計画を策定を進めた。 (進捗率: 20%)	<<計画>> 下水道事業による雨水貯留浸透施設の整備のための雨水施設計画及び基本設計を策定。 (進捗率: 40%) <<実績>> 貯留浸透施設の規模、位置、貯留方法について検討する。 (進捗率: 40%)	<<計画>> 貯留浸透施設の規模、位置、貯留方法について検討する。 (進捗率: 60%) <<実績>> 貯留浸透施設の規模、位置、貯留方法について検討する。 (進捗率: 60%)	→	→	○	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。	整備可能な箇所の選定や規模等を決定し、早期工事着手に必要な予算確保に努める。	
	7	透水性舗装の整備	県 (道路)	—	—	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)	→	→	▲	透水性舗装を施工する箇所のルール作りが必要。	透水性舗装を実施するため、道路管理者との協議する。
			焼津市	小川石津線、石津下小田線、黒石通り線、東小川8-2号線の歩道舗装を透水性舗装で整備。	<<計画>> 小川石津線、石津下小田線の歩道を透水性舗装で整備 (A=2,000m2) (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 40%) <<実績>> 小川石津線の歩道舗装を透水性舗装で実施。(A=730m2) (進捗率: 40%)	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)	→	→	○	道路管理者・事業者との連携が必要。	道路管理者・事業者と連携し、透水性舗装を実施する。
			藤枝市	—	—	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)	→	→	▲	透水性舗装を施工する箇所のルール作りが必要。新設道路の整備計画がなく、新たに透水性舗装を実施する機会が少ない。	透水性舗装を実施するため、道路管理者と協議を進める。新設道路整備に透水性舗装を採用するように努めるとともに、民間開発時にも推奨する。
8	各戸での流出抑制施設設置の推進	焼津市	開発許可が必要な1,000㎡以上の宅地分譲事業に、各区画毎の雨水貯留浸透施設を設置。	<<計画>> 各戸での流出抑制のため、宅地分譲開発において雨水貯留浸透施設を設置。 設置実績: 4件、43区画 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 各戸での流出抑制施設の設置を促進する。 (進捗率: 40%) <<実績>> 設置実績: 2件、21区画 (進捗率: 40%)	<<計画>> 各戸での流出抑制施設の設置を促進する。 (進捗率: 60%) <<実績>> 設置実績: 3件、23区画 (進捗率: 60%)	→	→	○	各戸での雨水流出抑制施設の設置の必要性を説明する必要がある。	当該流域の現状と課題や雨水流出抑制施設の設置について説明を行う。	
		藤枝市	—	—	<<計画>> 各戸での流出抑制施設の設置を啓発。 (進捗率: 25%) <<実績>> 宅地分譲開発において雨水貯留浸透施設を設置。 設置実績: 2件、20区画 (進捗率: 25%)	<<計画>> 平成32年度から雨水貯留浸透施設設置補助金制度創設に向け浸透適地の選定等の検討を進める。 (進捗率: 50%) <<実績>> 浸透適地の検討実施と宅地分譲開発にて貯留浸透施設を設置。 設置実績: 2件、18区画 (進捗率: 50%)	<<計画>> 雨水貯留浸透施設設置補助金制度を創設し、各戸での流出抑制施設の設置を推進する。 (進捗率: 100%)	→	→	○	浸透適地の選定と補助金制度創設のための財源確保が必要。	地下水位を既存資料等で調査し、浸透適地を選定する。他市町の事例を参考に補助要件、補助額等を決定する。
		流域住民	—	—	<<計画>> 各戸での雨水貯留タンクや浸透槽等の流出抑制施設の設置を推進する。 <<実績>> 黒石川流域内における各戸での流出抑制施設の設置実績: 4件、43区画。	<<計画>> 各戸での雨水貯留タンクや浸透槽等の流出抑制施設の設置を推進する。 <<実績>> 黒石川流域内における各戸での流出抑制施設の設置実績: 4件、41区画。	<<計画>> 各戸での雨水貯留タンクや浸透槽等の流出抑制施設の設置を推進する。 <<実績>> 黒石川流域内における各戸での流出抑制施設の設置実績: 5件、41区画。	→	→	—	—	—
9	農地の保水機能の保全	焼津市	農業者へ農地保全に関する協力を依頼。	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)	→	→	○	当該流域における農地の保水機能を保全する必要がある。	既存資料等を活用したPR方法について検討する。	
		藤枝市	農業者へ農地保全に関する協力を依頼。	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)	→	→	○	当該流域における農地の保水機能を保全することの重要性を周知する必要がある。	農地の保水機能に関する啓発方法について検討し、実施する。	
10	防災調整池などの有効利用	焼津市	防災調整池等の管理者に対する適正な指導を実施。	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)	→	→	○	防災調整池を適正に維持管理する必要がある。	適正な管理が行われるよう、必要に応じて管理者に説明を行う。	
		藤枝市	防災調整池等の管理者に対する適正な指導を実施。	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 60%) <<実績>> (進捗率: 60%)	→	→	○	当該流域における防災調整池の重要性を周知する必要がある。	防災調整池の適正な管理が行われるよう、必要に応じて管理者に指導する。	

ハード対策

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2019年度 (R1) 末時点進捗率の評価 (◎: 計画進捗率を上回る) (○: 計画進捗率通り) (▲: 計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針	
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)				
11	洪水ハザードマップなどの作成・周知	県 (河川)	インターネットにより浸水想定区域図 (H21年4月公表) を公開。	「計画・実績」 インターネットによる浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」 インターネットに加え、水防訓練時の説明や出前講座などにより浸水想定区域図を周知した。	「計画・実績」 インターネットに加え、水防訓練時の説明や出前講座などにより浸水想定区域図を周知した。			—	特になし	—	
		焼津市	浸水想定区域図が掲載されている県のホームページを市民に案内。	「計画・実績」 県のホームページを案内し、浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」 県のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知した。	「計画・実績」 県のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知した。			—	特になし	—	
		藤枝市	—	「計画・実績」 県のホームページを案内し、浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」 県のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知した。	「計画・実績」 県のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知した。			—	特になし	—	
	洪水ハザードマップの周知	焼津市	洪水ハザードマップ (H18年3月公表) を各戸配布し、市のホームページで公開。	「計画・実績」 市のホームページで公開。	「計画・実績」 市のホームページでの閲覧を周知した。	「計画 (見直し) ・実績」 想定最大規模降雨に対するハザードマップに更新するとともに、市のホームページでの閲覧を周知した。	「計画 (見直し)」 ハザードマップを印刷予定。		—	ハザードマップ更新や増刷に伴う予算の確保。	令和元年度からハザードマップを改訂する予定	
		藤枝市	洪水ハザードマップ (H18年4月公表) を各戸配布し、市のホームページで公開。	「計画・実績」 市のホームページで公開。	「計画・実績」 市のホームページで公開。	「計画・実績」 想定最大規模降雨に対するハザードマップに更新するとともに、市のホームページでの閲覧を周知した。	「計画 (見直し)」 市のホームページで公開する。		—	ハザードマップの更新や印刷に伴う予算の確保。	令和元年度にハザードマップを改訂する予定	
内水ハザードマップの作成・周知	藤枝市	—	「計画・実績」 雨水管理総合計画を策定し、内水シミュレーションを実施。			「計画」 内水シミュレーション結果に基づき、内水ハザードマップを作成する。	「計画」 市のホームページで公開し、周知を図る。	—	ハザードマップ作成や印刷に伴う予算の確保。	ハザードマップ作成に伴う予算の確保に努める。		
12	氾濫危険水位などの設定	市長の避難勧告などの発令判断の目安となる氾濫危険水位などの設定	県 (河川)	—	「計画・実績」 設定の必要性について検討するとともに、設定に必要な水位データの蓄積を行った。	「計画・実績」 設定の必要性について検討するとともに、設定に必要な水位データの蓄積を行った。			—	水位周知河川の指定や氾濫危険水位の設定に当たっては関係市町との調整が必要。	検討の各段階において関係市町と調整しながら進めていく。	
13	水位観測施設	水位計、量水標、CCTVカメラ、WEBカメラなどの監視システムの構築	県 (河川)	—	「計画・実績」 新たな水位計の設置候補河川に選定。	「計画・実績」 新黒石橋に危機管理型水位計 (N=1基) を設置。	「計画・実績」 量水標、CCTVカメラなどの整備・拡充を検討。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような設置機器や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた設置機器や設置位置の検討を行う。
			焼津市	—	「計画・実績」 量水標、CCTVカメラなどの整備・拡充の検討。	「計画・実績」 量水標、CCTVカメラなどの整備・拡充の検討。	「計画・実績」 量水標、CCTVカメラなどの整備・拡充の検討。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような機器の設置や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた機器の設置や設置位置の検討を行う。
			藤枝市	—	「計画・実績」 IoTの通信基盤LPWAを活用した水位計 (N=1基) を設置。	「計画・実績」 水位計、量水標などの整備・拡充の検討し、必要があれば予算要望していく。	「計画・実績」 水位計、量水標などの整備・拡充の検討し、必要があれば予算要望していく。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた機器や設置位置の検討を行い、必要があれば機器の増設を行う。
14	防災情報の共有化	インターネット、携帯電話・スマートフォン、ケーブルテレビ、地上デジタルテレビなどを活用したリアルタイムの雨量・水位・防災情報の提供やプッシュ型の情報提供、双方向通信による民間からの情報収集	県 (河川)	中港 (焼津市)、藤枝 (藤枝市) の雨量観測データをサイボスレーダーでリアルタイムで発信。	「計画・実績」 新たな水位計の設置候補河川に選定。 サイボスレーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。	「計画・実績」 防災情報の追加や新たな情報提供方法を検討。 新たに設定する水位計のデータも含め、サイボスレーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。	「計画・実績」 防災情報の追加や新たな情報提供方法を検討。 新たに設定する水位計のデータも含め、サイボスレーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。			—	特になし	—
			焼津市	やいづ防災メールによる避難情報などのメール配信。 地上デジタルテレビなどを活用したリアルタイムの雨量・水位・防災情報の提供やプッシュ型の情報提供、双方向通信による民間からの情報収集	「計画・実績」 焼津市水防監視システムを整備し、やいづ防災メール、しずおか気象、防災情報メールへの登録を呼びかけた。	「計画・実績」 焼津市水防監視システム拡充と周知。 やいづ防災メール、しずおか気象、防災情報メールへの登録を呼びかけた。	「計画・実績」 焼津市水防監視システム拡充と周知。 やいづ防災メール、しずおか気象、防災情報メールへの登録を呼びかけた。			—	特になし	—
			藤枝市	災害情報などのメール配信サービス「キックオフメール」により、登録者に地震や台風などの防災情報などを提供。	「計画・実績」 IoTの通信基盤LPWAを活用した水位計の設置。 市ホームページやメール配信サービスによる防災情報などを提供。	「計画・実績」 市ホームページやメール配信サービスによる防災情報などを提供。 「実績」 広報ふじえだ8月5日号に水害に関する特集記事を掲載。	「計画・実績」 雨量・水位・防災情報等を提供する危機管理用GISを構築。 「実績」 危機管理用GISを構築。 広報ふじえだ11月5日号に水害に関する特集記事を掲載。			—	特になし	—
15	防災意識の啓発	防災意識の啓発・高揚を図るための水防訓練、避難訓練、出前講座、学校教育、水害図上訓練、パンフレット作成・配布などの実施	県 (河川)	—	「計画・実績」 パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防教育の推進。	「計画・実績」 パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防教育の推進。	「計画・実績」 パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防教育の推進。			—	当該流域の浸水被害の軽減を目的とした取組を展開する必要がある。	当該流域の現状と課題や本アクションプランの取組等に関する啓発活動の展開について検討する。
			焼津市	毎年自衛隊と連携し、水防演習の実施。市広報誌において、水害に関する特集を掲載。 排水ポンプ車の操作訓練を自治会に公開。 防災出前講座を実施。	「計画・実績」 水防演習、防災出前講座、防災学習室などを通して、防災意識の啓発活動に取り組んだ。	「計画」 水防演習、防災出前講座、防災学習室などを通して、防災意識の啓発活動に取り組む。 「実績」 水防演習 (H30.6) 防災リーダー育成講座 (H30.7)	「計画」 水防演習 (R1.6) 水防演習 (R1.6) 防災リーダー育成講座 (R1.7) 台風19号の被害報告会を実施 (R1.10)			—	風水害に関する意識の啓発が必要。	水防演習、広報誌、訓練、防災出前講座、防災学習室等、様々なツールで風水害に関する意識の啓発を行う。
			藤枝市	毎年5月に水防訓練を実施。 平成28年度に4箇所 (累計193人) で出前講座を実施。 ・平成28年度に11箇所地区防災連絡会 (累計752人) において風水害に関する講演を実施。	「計画・実績」 水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組んだ。	「計画」 水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組む。 「実績」 出前講座: 15回 (累計695人) 地区防災連絡会: 9地区 (累計485人) 水害講演会 (3月実施予定)	「計画」 水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組む。 「実績」 出前講座: 14回 (累計746人) 地区防災連絡会: 11地区 (累計1130人)			—	風水害に対する防災意識を向上させるための啓発が必要	風水害に対する防災意識向上のため、水防訓練や出前講座による啓発を行う。
			流域住民	—	「計画・実績」 県や市町などが開催する出前講座や水害図上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。	「計画・実績」 県や市町などが開催する出前講座や水害図上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。	「計画・実績」 県や市町などが開催する出前講座や水害図上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。			—	—	—

ソフト対策

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2019年度 (R1) 末時点進捗率の評価 (◎：計画進捗率を上回る) (○：計画進捗率通り) (▲：計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)			
ソフト対策	16 水防活動の支援	県 (河川)	—	「計画・実績」土のうステーションや水防資材保管場所を検討。	「計画・実績」土のうステーションや水防資材保管場所の設置可能箇所の現地調査を実施し、設置可能箇所があれば予算要望する。	「計画・実績」土のうステーションや水防資材保管場所の設置を検討。	「計画」水防資機材の補充など水防活動の支援を実施。	→	—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、設置箇所等を決定する。
		焼津市	平成26年度に排水ポンプ車を配備し、平成27年度から運用を開始。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」土のうステーションの設置について検討。排水ポンプ車を水防活動に活用。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」土のうステーションを1箇所設置した。排水ポンプ車を水防活動に活用。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」土のうステーションを1基増設した。排水ポンプ車を水防活動に活用。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	→	—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、設置箇所等を決定する。	
		藤枝市	水防倉庫内の資材を補充している。	「計画・実績」水防資材の適正な管理を実施。	「計画・実績」土のうステーションや水防資材保管場所の設置可能箇所の現地調査を実施し、設置について検討する。水防資材の適正な管理を実施。	「計画・実績」水防資材保管場所の設置可能箇所の現地調査を実施し、設置について検討する。	→	—	消防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	消防団や自治会等の水防活動実施者との調整を図る。	
	17 樋門・樋管の適正管理	県 (河川)	施設管理者に対して、確実な点検や巡視の実施や適正な運用・維持管理を指導。	「計画・実績」施設管理者に対して、樋管・樋門の確実な点検や巡視の実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。	「計画・実績」施設管理者に対して、樋管・樋門の確実な点検や巡視の実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。	「計画・実績」施設管理者に対して、樋管・樋門の確実な点検や巡視の実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。	→	—	特になし	—	
		藤枝市	大井川土地改良区や地元農会役員と連携し樋門などを閉鎖することで、適正な運用に努めている。	「計画・実績」樋管・樋門の確実な点検や巡視の実施、適正な運用・維持管理に努めた。	「計画・実績」樋管・樋門の確実な点検や巡視の実施、適正な運用・維持管理に努めた。	「計画・実績」樋管・樋門の確実な点検や巡視の実施、適正な運用・維持管理に努めた。	→	—	特になし	—	
	18 取水施設の適正管理	焼津市	大雨の前に取水施設の閉鎖状況のバトルを行い、状況に応じて閉鎖作業を実施。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	→	—	特になし	—	
土地改良区		注意報や警報が発令される際の水防体制の実施、制水門の解放取水口の閉鎖。本川の1号～10号水門は、洪水時の自動感知システムで放流。(9号撤去済み)地域の管理人や委託業者による出水時に現地確認を実施。かんがい期前に点検を実施し、作動確認を実施。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」取水施設の適正な運用に努めた。	→	—	特になし	—		
19 土地利用の適正指導	焼津市	焼津市土地利用指導要綱に基づき、1,000㎡以上の土地利用については、調整池整備を開発者に指導。都市計画法に基づき、市街化区域及び市街化調整区域の1,000㎡以上の開発行為については、調整池整備を開発者に指導。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	→	—	特になし	—		
	藤枝市	藤枝市土地利用に関する指導要綱に基づき、1,000㎡以上の土地利用・開発行為については、調整池整備を開発者に指導。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」土地利用の適正な指導に努めた。	→	—	特になし	—		
20 住居改良への支援	焼津市	過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	→	—	特になし	—		
	藤枝市	—	「計画・実績」既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言。	「計画・実績」既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言。	「計画・実績」既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言。	→	—	特になし	—		